

「シリーズもつすべ1年」

兵庫県の南西部に「播磨の小京都」と呼ばれる龍野の町並みに溶け込むように佇む自然と、住む人にやさしい家が建っています。藍色の外観に、北側には建物と格子の間に木製のベンチを作り、ご近所の方や友達が来られた時にゆっくりくつろいで楽しい会話が弾む空間を設けています。

お施主様は家族みんなが寝るとき以外はリビングで過ごすというライフスタイル。家族が増えてもあまり空間を分けたくないとのことで、家族が集まりやすいダイニング・キッチンと一体、さらに和室とも隣接したリビングをつくりました。キッチンにいても家の中の様子がよくわかります。

子供の時に見た経験したりしたことは、年をとっても記憶に残り、その人の人生に大きな影響を与えます。子供が傷つけることのできない素材を使ったり、汚れても落とせる素材にする方法もありますが、そうはしませんでした。木・土・石・紙などの本物の素材は年月とともに味わい深い色合いに変化していくものです。そんな本物に触ってほしい。本物を大事にすることを覚えてほしいと

木のすまい仕様の家 素材を生かした本物志向の家



思います。

2階のフリースペースからスキップフロアーであるホールは昔の宿場町の雰囲気イメージ、小豆色の自然塗料を塗っています。

兵庫産の木材や自然を好み、素材感を活かした本物志向の家。そして趣味にこだわりを持つ世代に、住まいを通じた暮らし方への提案。

木の家といいながら、昔ながらの和風住宅でなく世代の嗜好にあったシンプルなデザインとしました。



「設計・施工」
ひょうご木のすまい協議会 正会員
株式会社 アルファ工房

炭にも白と黒

これからの季節、外でバーベキュー（以下、BBQ）するということも多いことと思います。そのBBQにも使用する炭ですが、黒炭と白炭の二種類あるのは皆さんご存知でしょうか？一見同じように見える炭ですが、その性質は大きく違います。違いは製造過程にあり、白炭は炭化が進んだ時点で大量の空気を入れ込み一気に窯内の温度を上昇させ未炭化部分を燃焼（精錬）させて炭の品質を上げます。その後、真っ赤になった木炭を窯から出し消粉（灰と土の混合物）をかけて冷まします。そのため白炭の表面が白っぽく見えます。揮発分が少なく硬質の白炭は火持ちがよくウナギの蒲焼き等の営業用に使われ、備長炭が白炭の代表とされています。

一方、黒炭は精錬後に窯の口を塞いで密閉状態にして消化します。このため窯の内部（天井部分と窯底部分）で炭化温度に差が生じて炭質が一定にならず、揮発分も多い軟らかい炭となります。一般に市販されているBBQ用の炭は主にこちらになります。ただ、この黒炭は切口に放射状の細かい割れ目が入り、菊の花のように見え、美しいことから茶の湯炭として重宝されています。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介

木の家

ひょうご木のすまい協議会

Vol. 60

May
June
2017

ひょうご木のすまい協議会からのお知らせ

WEB住宅展示場開設

ひょうご木のすまい協議会のホームページに、WEB住宅展示場を開設しました。ひょうご木のすまい協議会に加盟している各社のモデルハウスを、いろんな角度から見学できます。ぜひ、ご覧ください。 URL <http://hyogo-kinosumai.com/pano/>



ひょうご木のすまい協議会の家を
360°ビューで見学しよう!

兵庫県庁林務課からのお知らせ

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率0.8%固定（平成29年9月30日融資実行分迄）

●新築・増改築

融資限度額：2,300万円※1（返済期間25年以内※2）

※1）その他条件により、融資限度額は最大3,200万円までアップします。

※2）県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26年目以降の利率は1.8%になります。

●リフォーム

融資限度額：500万円（返済期間10年以内）

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

URL http://web.pref.hyogo.lg.jp/af13/af13_00000017.html

兵庫県 木造住宅ローン 検索